

2nd アナウンスメント

北海道九州動物臨床ジョイントシンポジウム 7th

Hokkaido・Kyusyu Animal Clinical Joint Symposium '7th

本シンポジウムは、日本列島の両端の獣医師集団が、獣医療について互いに切磋琢磨して向上を目指し、極東アジアから世界の獣医療を凌駕する夢を描いて開催するものです。

記

日 時：平成 28 年 1 月 23 日(土)～24 日(日)

会 場：宮崎大学農学部棟・獣医棟

参加費：関係団体会員 3000 円、非会員 5000 円、学生無料

申込先：開催事務局九州窓口（申込〆切：2016 年 1 月 17 日）

主 催：北海道九州動物臨床ジョイントシンポジウム実行委員会

共 催：宮崎大学農学部獣医学科、日本獣医麻酔外科学会

後 援：九州獣医師会連合会、宮崎県獣医師会、北海道獣医師会、さっぽろ獣医師会、九州画像診断研究会、臨床五月会、鹿児島小動物臨床研究会、長崎獣医症例検討会、宮崎八仙会、鹿児島大学小動物臨床フォーラム、熊本小動物臨床研究会、あすなろ会、南九州小動物臨床研究会、社台ファーム、他

Contents & Schedule

		第1会場 (L109室)	第2会場 (L206室)	第3会場 (V104室)	第4会場 (産教センター2F)
1/23 (土)	13:00～				シンポジウム 日本の畜産のこれからを考えてみよう「北と南から」① 乳牛のこれから
	14:00～	パネルディスカッション 胆嚢粘液嚢腫の手術適応例 の選別と術式	パネルディスカッション 犬のリンパ腫：すべて教えます	特別講演：我が国にける馬の 先端獣医療と後継者養成	シンポジウム 産業動物のために、私たちにできること？ 「男女共生の視点から」①
	16:00～	特別記念講演『生涯現役』 萩尾光美(宮崎大学教授)			
	19:00～	懇親会・記念祝賀会			
1/24 (日)	8:30～	モーニングセミナー 一般開業医が行うべき止血異常・凝固異常の評価			
	9:30～	一般演題(小動物20題予定)		シンポジウム 日本発、馬獣医学に関する新 たな知見と将来展望	シンポジウム 産業動物のために、私たちにできること？ 「男女共生の視点から」②
	12:00～	ランチョンセミナー 腹部エコー・ブロープ操作と描出のコツ		ランチョンセミナー(未定)	
	13:10～ 15:30	シンポジウム 整形外科：日常の臨床でよく 遭遇する症例	シンポジウム 僧帽弁閉鎖不全症による肺 水腫の治療と手術適応		シンポジウム 日本の畜産のこれからを考えてみよう「北と南から」② 肉牛のこれから・畜産のこれから

一般演題募集

小動物臨床分野では一般演題を募集します。発表 8 分質疑 4 分（予定）、PC 持参、抄録は A4 用紙 1 枚程度（演題、名前、所属、本文の順で各改行し、発表者の頭に○）、Microsoft Word で作成し、九州側事務局にご提出ください。発表資格に地域制限はありません。

応募〆切：2015 年 12 月 28 日（月）

応募先：開催地事務局九州側窓口（青葉動物病院）

開催地事務局：九州側窓口：伊東輝夫（青葉動物病院）宮崎市青葉町 92-1

TEL: 0985-22-1228 FAX: 0985-22-1227

E-mail: itohteru@gmail.com

北海道側窓口：高木 哲（北海道大学）

TEL : 011-706-5100 E-mail : staka@vetmed.hokudai.ac.jp

懇親会・記念祝賀会のお知らせ

シンポジウム初日の夜に懇親会を開催します。この会は本シンポジウムを牽引されてきた萩尾光美教授の退官記念祝賀も兼ねております。参加資格の制限はありませんので、皆様奮ってご参加いただき、親睦を深めつつ宴を盛り上げていただければと思います。

記

日 時：平成 28 年 1 月 23 日（土）19：00 開宴

場 所：ホテルひまわり荘（宮崎市瀬頭 2 丁目 4-5）

参加費：8000 円

----- ✂ -----
申し込み（○でお囲みください）

ジョイントシンポジウムに 1. 参加する 2. 参加しない

ランチョンセミナー弁当 1. 必要 2. 不要

懇親会・記念祝賀会に 1. 参加する 2. 参加しない

お名前：_____ 所属：_____

e-mail または住所：_____

メッセージ

宛 先：ジョイントシンポジウム・懇親会/退官記念祝賀会事務局
青葉動物病院（伊東輝夫） FAX 0985-22-1227
e-mail : itohteru@gmail.com

当日までに追加・変更がありえますがご了承ください

小動物プログラム

1月23日(土)

パネルディスカッション① 14:00～16:00

座長 廉澤 剛 (酪農学園大学)

胆嚢粘液嚢腫の手術適応例の選別と術式

パネリスト1

矢吹 淳 (小倉動物病院・北九州市)

パネリスト2

高木 哲 (北海道大学)

パネリスト3

前谷茂樹 (まえたに動物病院・札幌市)

パネルディスカッション② 14:00～16:00

座長 遠藤泰之 (鹿児島大)

犬のリンパ腫:すべて教えます

高悪性度リンパ腫の診断と治療

山崎裕毅 (鹿児島大学)

レスキュー療法の実際:

細谷謙次 (北海道大学)

低悪性度リンパ腫の臨床像と治療法

高橋 雅 (鹿児島大学)

～～ 特別記念講演 16:00～17:00 ～～

座長 金本 勇 (茶屋ヶ坂動物病院)

『生涯現役』 萩尾光美 (宮崎大学)

1月24日(日)

モーニングセミナー 8:30～9:15

座長 串間清隆 (晴峰動物病院・宮崎県)

一般開業医が行うべき止血異常・凝固異常の評価 . . . 酒井秀夫 (諫早ペットクリニック・長崎県)

一般演題 9:30～12:00

ランチョンセミナー 12:00～12:45

座長 古川彰宏 (古川動物病院・佐賀県)

腹部エコー:プローブ操作と描出のコツ

滝口満喜 (北海道大学)

シンポジウム 13:10～15:30

座長 長谷川貴史 (大阪府立大学)

整形外科:日常の臨床でよく遭遇する症例

膝蓋骨脱臼

桂 太郎 (カツラ犬猫病院・札幌市)

肩関節と肘関節の脱臼

越後良介 (北海道大学)

細くならないあるいは細くなった橈骨骨折の手術法 . . .

樋口雅仁 (動物整形外科病院・大分県)

シンポジウム 13:10～15:30

座長 藤岡崇伯 (ASAP 動物病院・福岡県)

岩永朋子 (鹿児島大学)

僧帽弁閉鎖不全症による肺水腫の治療と手術適応

利尿剤の使い方

中村健介 (北海道大学)

静脈内強心剤の使い方

上村利也 (かみむら動物病院・鹿児島県)

離脱後の治療と手術適応

平川 篤 (ペットクリニックハレルヤ・福岡市)

当日までに追加・変更がありえますがご了承ください

大動物プログラム

1月23日（土）

特別講演 14：00～16：00

座長：帆保誠二（鹿児島大学）

我が国にける馬の先端獣医療と後継者養成・・・・・・・・

田上正明（社台ホースクリニック）

シンポジウム 13：00～15：00

座長：大澤健司（宮崎大学）

日本の畜産のこれからを考えてみよう「北と南から」①

～乳牛のこれから～

北海道酪農のこれから（仮題）・・・・・・・・・・ 白尾優佳（北海道共済）

福岡の酪農のこれから（仮題）・・・・・・・・・・ 後藤 聡（福岡県酪連）

低投入酪農・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 久保田 学（北海道共済）

ほか

シンポジウム 15：00～16：00

座長：北原 豪（宮崎大学）

産業動物のために、私たちにできること？「男女共生の視点から」①

～現状の問題点を探して～

もっと女性にパワーを！・・・・・・・・・・ 谷 千賀子（たくま家畜診療所・熊本県）

アンケートから見る女性獣医師のワークライフマネジメントの現状と課題（仮題）・・上村凉子（宮崎大学）

～～ 特別記念講演 16：00～17：00 ～～

座長 金本 勇（茶屋ヶ坂動物病院）

『生涯現役』 萩尾光美（宮崎大学）

1月24日（日）

シンポジウム 9：30～12：00

座長：帆保誠二（鹿児島大学）

日本発、馬獣医学に関する新たな知見と将来展望

シンポジスト1・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 都築 直（宮崎大学）

シンポジスト2・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 三浦直樹（鹿児島大学）

シンポジスト3・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 齋藤靖生（鹿児島大学）

シンポジスト4・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 石川真悟・三角一浩（鹿児島大学）

ほか

シンポジウム 9：30～12：00

座長 上村凉子（宮崎大学）

産業動物のために、私たちにできること？「男女共生の視点から」②

～私たちからの提案～

基調講演：口蹄疫がヒトのメンタルヘルスに与えた影響（仮題）・・ 重黒木真由美（宮崎市 医師）

四国愛媛の今とこれから・・・・・・・・・・・・・・・・ 杉山恵美子（愛媛共済）

鹿児島・北海道の産業動物の課題・・・・・・・・・・	酒見蓉子（鹿児島県）
女性からみた女男共生・・・・・・・・・・	上松瑞穂（宮崎共済）
男性からみた男女共生・・・・・・・・・・	北原 豪（宮崎大学）

ランチョンセミナー （交渉中）

シンポジウム 13：00～15：30

座長 片本 宏（宮崎大学）

日本の畜産のこれからを考えてみよう「北と南から」②

～肉牛のこれから・畜産のこれから～

畜産県宮崎のこれから・・・・・・・・・・	大和田孝二（NOSAI 連宮崎）
----------------------	-------------------------

牛の繁殖を追いかけて 30 年、今思うこと・・・・・・・・	谷 峰人（東海大）
-------------------------------	------------------